

★治療について

レジメン名	1コースの期間	診療科	適応疾患	コース数	コース開始日
SOX+Nivolumab21	21日間	外科・内科	胃がん	コース目	

★治療スケジュール

以下の治療スケジュールで繰り返し行います。症状や経過に合わせて治療スケジュールが変わることがあります。

投与順	投与経路	薬品名	投与量 投与時間	実際の 投与量	実施日																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16~21	
1	点滴 静注	オプジーボ 生理食塩液100mL	360mg /Body 30分	360mg	●																
2	点滴 静注	グラニセトロン (吐き気止め)	3mg/100mL 30分	3mg/100mL	●																
3	点滴 静注	オキサリプラチン 5%ブドウ糖注 250mL	130mg/m ² 2時間	200mg	●																
	内服	エヌケーエスワン配合OD錠 (テカフル・キメラシ ル・オテラシルカリウム)	1.25m ² 未満 80mg/日 1.25m ² ~1.5m ² 100mg/日 1.5m ² 以上 120mg/日 1日2回	mg/日 1回 錠			朝	朝	朝	朝	朝	朝	朝	朝	朝	朝	朝	朝	朝	朝	朝
						タ	タ	タ	タ	タ	タ	タ	タ	タ	タ	タ	タ	タ	タ	タ	タ

★注意事項など

この用紙は、かかりつけ医や保険調剤薬局の薬剤師へご提示ください。

★保険調剤薬局薬剤師の方へ

服薬状況や副作用等報告事項がありましたら、「患者情報連絡書」にて報告をお願いします。

「患者情報連絡書」: 碧南市民病院HP→部門紹介→薬剤部→薬薬連携に掲載

FAX(地域連携室): 0566-46-3774

【緊急時連絡先】碧南市民病院 薬剤部 TEL: 0566-48-5050(代表)

SOX+Nivolumab 21の副作用について

★起こりやすい副作用と発現時期の目安

これらの副作用が、すべての方に起こるわけではありません。また、発現時期には個人差があります。

副作用	発現時期(日)														
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15日目以降
白血球減少															
貧血															
血小板減少															
肝機能障害															
悪心・嘔吐・食欲不振															
末梢神経障害(急性)															
末梢神経障害(慢性)															
下痢															
口内炎															
倦怠感															
色素沈着															
手足症候群															
発疹															
流涙(なみだ目)															
過敏症															
血管痛															
皮膚障害															

★起こりやすい副作用と対策

〈血液検査からわかる副作用〉

● 白血球減少

白血球は体内へ進入した細菌から体を守る重要な役割があり、治療開始後10～14日頃に最も少なくなり、菌やウイルスに感染しやすくなります。

⇒日頃から手洗い、うがいなどの感染対策を！白血球が少ない時期は人ごみを避けましょう。

● 貧血

副作用による貧血の場合、めまい、ふらつきなどの症状としてあらわれることがあります。場合によっては、薬で治療をしたり、輸血をすることもあります。

● 血小板減少

血小板は出血した時に血を止める働きがあります。血小板が少なくなると、歯肉からの出血や内出血、鼻血などが起こりやすくなります。

⇒血小板が少ない時期は、ケガをしないように注意して下さい。

● 肝機能障害

肝臓の働きが低下することがあります。そのため、定期的に血液検査を行い、肝臓の働きを確認します。

⇒お酒やサプリメント、健康食品でも肝臓の働きが低下することもあります。服用中の方は、主治医に申し出て下さい。

〈ご自分でわかる副作用〉

● 悪心・嘔吐・食欲不振

個人差の大きい副作用です。治療時期に合った吐き気止めを使います。ただし、水分もとれない場合は病院へ連絡して下さい。

⇒食欲がなくても、水分はしっかりとるようにして下さい。

● 末梢神経障害

投与後、冷たい物に触ると、一時的に手足にピリピリとした痛みが出ることがあります。しかし、投与する回数が増えると、常に手足がしびれた状態になり、回復するまでに時間がかかります。しびれが強い時は、治療を休んだり、中止することもあります。

⇒日常生活に支障が出る時は、主治医に相談して下さい。

● 下痢

1日3回以上の排便、もしくは明らかな排便回数の増加がみられた場合は、下痢止めを服用して下さい。下痢止めを2回服用しても、よくなる場合は、病院への連絡が必要です。

⇒脱水を防ぐために、下痢または軟便の時は、水分をしっかりととりましょう。

● 口内炎

治療開始1週間ほどで口の中や歯肉がしみる、ひりひりする、赤くなるといった症状が出るることがあり、うがい薬や口腔用の軟膏を使うことがあります。痛くて食事がとれない場合は、病院へ連絡して下さい。

⇒こまめにうがいや歯みがきをして、口の中を清潔に保って下さい。

● 倦怠感

治療開始2、3日後に症状があらわれることがあります。また、治療が継続することで徐々に出てくることもあります。症状が強い場合には、お薬で対応することがあります。

⇒無理に動こうとせず、安静にして様子を見て下さい。

● 色素沈着

抗がん剤の影響で顔や手や足(特に指先や関節)、つめが黒くなることがあります。

● 手足症候群

手のひらや足の裏が赤くはれたり、ヒリヒリ・チクチクすることがあります。症状が強くなると、皮膚のひび割れや水ぶくれなど日常生活に支障をきたすおそれがあります。休薬が必要な場合もあるので、痛みが強い場合には、病院へ連絡して下さい。

⇒こまめに保湿剤を使って皮膚が乾燥しないように心がけましょう。

● 発疹

● 流涙(なみだ目)

● 過敏症

点滴中にアレルギー症状がおこることがあります。『息苦しい』『胸が苦しい』『心臓がドキドキする』『発疹がでる』『顔がほてる』『汗がでる』『顔や体がかゆい』などの症状がおこった時は、すぐにスタッフを呼んで下さい。

⇒アレルギー症状は、多くの場合、点滴を始めてから数分でおこります。

● 血管痛

抗がん剤の刺激によって、点滴中～点滴後に血管に沿って痛みがでることがあります。

⇒痛みや異常を感じたら、我慢せずにスタッフに声をかけて下さい。

● 皮膚障害

発疹、かゆみ、白斑や皮膚色素減少(皮膚が一部白くなる)が現れることがあります。

★すぐに連絡をいただきたい副作用

- ★「倦怠感(だるさ)」、「食欲不振」、「発熱」、「黄疸(目の白い部分や顔や手が黄色くなる)」、「発疹」、「吐き気・嘔吐」、「かゆみ」(肝機能障害)
- ★「激しい腹痛」、「激しい下痢」(腸炎)
- ★「階段を登ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる」、「空咳が出る」、「発熱する」このような症状が急に現れる、または以前から症状があった場合は、症状が急に悪くなる。(間質性肺炎)
- ★「皮膚のかゆみ」、「じんま疹」、「声のかすれ」、「くしゃみ」、「のどのかゆみ」、「息苦しさ」、「心臓がドキドキする」、「意識がもうろうとする」、「熱っぽい」、「急に寒気がする」、「ふらつく」(過敏症)
- ★「繰り返し運動で疲れやすい」、「まぶたが重い」、「足、腕に力が入らない」、「筋肉痛がある」、「ものが二重に見える」、「吐き気がする」、「動悸がする」、「赤褐色尿が出る」(重症筋無力症・心筋炎・筋炎・横紋筋融解症)
- ★「下痢(軟便)あるいは排便回数が増えた」、「便に血が混じる、便が黒い、便に粘り気がある」、「腹痛あるいは腹部の圧痛(押すなど圧迫した時に現れる痛み)がある」、「吐き気や嘔吐がある」(腸炎・重度の下痢)
- ★「体がだるい」、「体重が減る」、「のどが渇く」、「水を多く飲む」、「意識障害」、「尿の量が増える」(1型糖尿病)
- ★「鼻血」、「歯茎の出血」、「血が止まりにくい」、「点状や斑状の皮下出血」、「息切れ、息苦しい」、「体がだるい」、「顔色が悪い」、「かゆみ」、「発熱」、「寒気がする」(重篤な血液障害)
- ★「皮膚や白目が黄色くなる(黄疸)」、「いつもより疲れやすい」(肝機能障害・肝炎・硬化性胆管炎)
- ★「いつもより疲れやすい」、「脱毛」、「体重増加あるいは体重減少」、「寒気がする」、「行動の変化がある(性欲が減る、いらいらする、物忘れしやすいなど)」、「便秘」(甲状腺機能障害)
- ★「運動のまひ」、「感覚のまひ」、「手足のしびれ」、「手足の痛み」(神経障害)
- ★「むくみ」、「尿量が減る、尿が出ない」、「貧血」、「血尿」、「発熱」(腎障害)
- ★「体がだるい」、「意識が薄れる」、「吐き気や嘔吐がある」、「食欲不振」(副腎障害)
- ★「発熱」、「失神」、「嘔吐」、「精神状態の変化がある」、「体の痛み」(脳炎)
- ★「全身に赤い斑点や水ぶくれが出る」、「ひどい口内炎」、「まぶたや眼の充血」、「粘膜のただれ」(重度の皮膚障害)
- ★「腫れ、むくみ」、「皮膚や唇、手足の爪が青紫色～暗褐色になる」(意識の低下、胸の痛み、息苦しい) (静脈血栓塞栓症)

※ここに記載した副作用以外にも、体の異常を感じたら病院にご連絡ください。碧南市民病院 (代表)0566-48-5050